

## 巻頭言

「東アジア文化圏の大衆的芸能における近代化・グローバル化の旅路 /  
東亞文化圏大衆藝術型態的現代化與全球化旅程」論文集の刊行にあたって

細井尚子（立教大学教授・アジア地域研究所所員）

本論文集は、2023年12月2・3日に台湾・国立台北芸術大学で開催された「2023 東亞大衆戲劇國際學術研討會 大衆演劇のグローバル化旅程/2023 東アジア大衆演劇國際シンポジウム大衆演劇のグローバル化の旅路」（台北芸術大学戲劇系主催、JSPS 科研 22K00136・立教大学アジア地域研究所共催）に提出された論文を基に、発表時のコメント、質疑応答を受け、修正した14本の論文と、「基調講演」として、大衆演劇の劇場を新宿に開場した水野多恵子氏の講演録を収めています。

このシンポジウムは、台北芸術大学戲劇学部と立教大学アジア地域研究所によって2015年に組織された東アジア大衆演劇研究会を起点に、毎年、シンポジウムや研究フォーラム、研究者交流等の研究活動を継続してきた流れの中に位置づけられます。台湾・日本・中国・韓国の研究者を繋ぐこの東アジア大衆演劇研究ネットワークの活動は、毎年、その年の成果を基に、大衆演劇をめぐる状況・環境などから問題点を話し合い、翌年の研究活動のテーマ設定し、共有しています。従って今回のシンポジウムも、昨年度の「近代化・グローバル化により形成されたグローカル化の果実は、優位に立つ文化コードの翻案域に留まるのか否か」という問題意識による研究成果（『東アジアにおける舞台性大衆娯楽のグローカル化を巡って』立教大学機関リポジトリで公開）を踏まえ、以下のような主旨で開催されました。

聚焦二十世紀上半葉迄今東亞地區與西方文明交纏紛雜的政治經濟脈動與人口遷移背景下，亞洲地區多元西洋文明的地方性演劇活動、劇種、表演傳統的跨境流播與傳譯旅程。

（20世紀前半から現在に至る、東アジア地域の西洋文明と複雑に絡み合った政治経済の脈動と人口移動を背景とする多元的な地域演劇活動、劇種、伝統的芸能が、越境して伝播し、伝播先で解釈され、着地する旅程に焦点を当てる。）

本論文集に収録された論文は、演劇・演芸・舞踊・音楽など上演文化の交点にある大衆演劇について、東アジアの枠組で考え続けていく「旅程」にあり、今後、更に研究を深め、拡げ、展開させていく過程における1つの果実となります。

また、本論文集では予算の関係で、中国語で執筆された論文に日文版を用意できませんでした。何卒ご海容くださいますよう、お願い申し上げます。